

《参加者の感想》

◆長崎東中学校3年 R. O. ◆

イギリスでのゆめ体験は僕にとってとても濃密で、これまでにない貴重な経験でした。テレビのニュース番組や本、インターネットなど、イギリスに関する情報は日本でもたくさん手に入りますが、実際に体験してみなければ分からなかったことが多くありました。9日間の毎日が驚きと発見に溢れていて、とても楽しかったです。

特に印象に残っているのは、アバディーンでのホームステイです。ホストファミリーと過ごした3日間を通して、「生活の様子や文化は日本と違っても、自分達とたくさんの共通点がある」ということに気がきました。例えば、僕がお世話になったお宅には、ホストファミリーが「Scottish room」と呼ぶ、伝統的なスコットランドの装飾がされている部屋がありました。僕はそれを見て、日本の和室に非常に似ていると感じました。自分たちの伝統的な文化を生活の中に取り入れ、守っていこうとする姿勢は、中身は違えど共通するものなのだと思います。ホストファミリーと Youtube を使ってお互いの伝統的な芸能や祭りを紹介し合ったのは非常に良い思い出です。

もう一つ興味深かったのは、イギリスの学校生活の様子です。ホストファミリーには高校三年生の女の子がいたため、学校の様子についてたくさん質問することが出来ました。彼女は学校のクラブ活動で非常に精力的に活動しており、「STEM は男子のものというイメージを払拭したかったから、女子だけのSTEMクラブを立ち上げた」と言っていました。また、学校行事の一環で「生徒だけで泊りがけの登山をする」というものがあるとも聞きました。日本と比べ、個人のアイデアに基づく活動が尊重されていると感じ、非常にうらやましかったです。

また、僕が7日間アバディーンやロンドンの様子を見ていてさらに実感したのが、日本企業製品の少なさです。例えば、日本の家庭のテレビはシャープ製やパナソニック製など日本企業の製品が多いですが、イギリスで日本企業製のテレビを見たのは一度だけでした。宿泊したホテルやホストファミリーの家ではサムスン製、LG製といった韓国企業の製品がほとんどでした。イギリスでどのような国の企業の製品が使われているか見ることが出来たのは非常に面白かった反面、日本企業のシェアは家電に限らず低いと感じ、少し残念でした。

今回の研修は、僕の視野を大きく広げてくれました。ここには全く書き足りないほど、様々な体験をさせてもらったおかげです。そのような機会を用意してくださった国際課の職員の方や、イギリスの皆さん、共に学んだ仲間をはじめとするこの研修に携わった全ての皆さんに感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。来年の10月にホストファミリーが日本を訪れ、長崎にも来るそうです。今度は自分がしっかりと長崎の良さを発信できるよう、長崎についてさらに学ぶことを当面の目標としたいです。

◆横尾中学校3年 K. C. ◆

すごく充実した9日間でした。私はいろんな所に行ったことがあります、ヨーロッパは初めてでした。以前からイギリスに行くのが夢で、参加が決まったときはすごく嬉しかったです。私のこの研修での目標はまず、自分がどれだけネイティブな英語を聞き取れるか、そして喋ることができるかを知ること、またホームステイを通してイギリスに住んでいる人たちの食生活などのライフスタイルを知ることでした。最初は何度か聞き返したり、もっと簡単に言ってもらったりしていましたが、積極的に喋るにつれ、途中から聞き返さなくなったり、自分から話したいことを話せるようになってきました。そしてライフスタイルも日本とは違ういろんなことを知ることができました。

私が一番思い出にのこったのはホームステイです。私たちのホストファミリーには子どもが2人、ペットが2匹いて私は子どもも動物も大好きなのでワクワクしていました。初めて子どもたちに会ったときはどう接していいかわからず、自己紹介以外は無言でしたが、日本からのお土産をきっかけに喋ることができました。外で一緒に遊んだりしてすごく楽しかったです。ホームステイの他にも、建物や食物でイギリスを感じる事ができて、毎日充実していました。

私は小さい頃から国際的な環境で育ってきて外国に興味がありましたが、今回の体験でもっと積極的に勉強し世界中のいろんな人と出会いたいと思うようになりました。

この「子どもゆめ体験」に協力してくださったみなさんや一緒に参加したみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◆附属中学校3年 S. K. ◆

出発前日には、不安と緊張の連続だろうなと思っていた9日間がこんなに有意義で楽しい経験になるとは思ってもいませんでした。僕はチャレンジすることがとても苦手です。なので、この研修に参加するように背中を押してくれた親には感謝してもしきれません。ちなみに余談ですが、イギリスへ行ってから、リスニングのテストの点数が上がりました。

先ほども書いた通り僕はチャレンジすることが苦手で、いわゆる消極的な人間です。しかし、今回僕が最も印象的だった「ホームステイ」が考え方を教えてくれました。海外でのホームステイは、一生に一度あるかないかの貴重な経験です。そんな時に「消極的な言動をしていたら、ホストファミリーにも気を使わせてしまったり、なによりも、もったいない」という考えが頭に浮かびました。もちろん、日本語ほど積極的に話せたわけではありません。しかし、自分の持っている英語の全てを出せました。自分が「チャレンジ」できたことと、自分を「チェンジ」できたという経験は死ぬまで忘れないと思います。また、ホームステイで分かった事は、フレンドリーだなということです。なのでこちらからも話しかけやすかったです。自分達を受け入れてくれたあのホストファミリーの二人に、また会いたいと今でも思います。それくらいホームステイは印象深かったです。

様々な場所に行き、感じたことは、ほぼすべての建物に歴史を感じるということです。例を挙げると、ビッグベンであったり、アバディーン石造りの家、ダノッター城。日本とは違った歴史を見たり、感じたりすると、新鮮さを感じる事ができました。また、ロナークギャザリングでは、伝統ある行進と、音楽に圧巻されました。他にもこの感想文には入りきれないくらいの経験と感じた事がありました。そのおかげで、日本の良さも感

じることができました。毎日いるこの日本の良さに気づけたのは大きなことだと思っています。

もし、この研修に自分が参加できていなかったら、自分は一生消極的だったのかなと考え、本当に参加できてよかったと思えます。この経験が僕の人生に与える影響が大きいか、小さいかは分かりませんでした。外国の文化に触れられたことは経験としては「人生の財産」と言えるほど大きいことと思います。そして、引率の先生方、その他関係者の皆様、誠にありがとうございました。

◆西浦上中学校2年 S. K. ◆

私はこの体験を通して他では絶対に手に入らないたくさんのお話を学ぶことができました。ここで経験したことは自分の視野を大きく広げるとともに大きな糧となって自分自身を成長させてくれたと思います。出発前はウェストミンスター寺院や映画に出てくるようなロンドンの町並みが楽しみでしたが、実際に行ってみるとアバディーンは自然豊かな風景に心を打たれました。一番心に残った思い出はホームステイです。私は今まで、外国人と話すときは英語が間違っていないかと不安になって、自分から積極的に話しかけることができませんでした。しかし、ホストファミリーが私たちをまるで自分の家族のように受け入れてくれたので英語で話すことが楽しみへと変わっていきました。ホストマザーが外食につれていってくれたり、たくさん私たちと接して楽しませようとしてくれたことが何よりもうれしかったです。さよならパーティーでは、現地の子どもたちと一緒に遊んだりして交流を深め外国人の友達をつくることができました。英語力はまだまだですが、ホストファミリーや現地の外国人の人たちとの交流を通して自分から伝えたいという思いが一番大切だということに気がつきました。

また、外国の文化に対する興味も増し、英語だけでなく他の言語をもっと勉強したいと思いました。この体験で新しい世界に飛び込み、外国の文化を肌で感じ、多くの刺激を受けたことで、想像力や世界観がさらに豊かになりました。違う文化を持った国の人どうしが友情の絆を結ぶためには、まずお互いの文化を尊重しあい、認め合うことが大切だと思います。これからもホストファミリーから受けた温かい愛情を忘れず、外国の人とこれからも交流していきたいです。まだ、将来の夢は決まっていますが、アバディーンと日本のかけ橋となり貢献したいです。ホストファミリーや国際課のみなさん本当にありがとうございました。

◆桜馬場中学校2年 M. K. ◆

私は、この「子どもゆめ体験」で多くのことを学び、成長することができました。今回の旅で私が一番成長できたと感じているのは、コミュニケーションです。はじまったばかりのころは、なかなか自分の気持ちを出せず、外国人の人とお話しするのは、とても不安でした。でも、イギリスの空港で買い物をするときに、お金の使い方がわからなかった私に、やさしく笑顔で教えてくれて、不安が一気になりました。

ホームステイでは、ホストファミリーの人とたくさん会話できたと思います。私は、英語があまり得意ではありませんが、自分が知っている単語を使って会話することができました。また、現地で覚えた単語もあって、とても勉強になりました。ホームステイでは、スコットランドの生活を間近に感じることができ、とても楽しかったし、良い思い出になり

ました。

スコットランドの街並みは、統一感があり、とても楽しかったです。また市役所の中はお城みたいで、日本との文化の違いを感じました。

後半には、ロンドンに行きました。ロンドンは人がとても多くてその分、危険を感じる場面もありました。しかし、ロンドンは昔からの文化がたくさん残っており、歴史を感じることができました。今回の旅は私の一生の宝物です。

帰国後に、私は学校で、ラグビースコットランド代表のOBの方と交流する機会があり、和太鼓や剣道、茶道など日本の文化をたくさん体験してもらいました。そこで、私は案内役を務めたのですが、今までにないくらい積極的に自分から話しかけ会話することができました。もちろん言っていることが分からないときもありましたが、聞き返したりして、たくさん会話することができました。ここまで私が積極的に自分から行動できるようになったのも、このゆめ体験があったからです。

今回、不安もありましたが、そんなことも忘れるぐらい、楽しい思い出がたくさんできました。今回ゆめ体験に参加できたことを誇りに思います。この体験を活かして、まだ自分の知らない世界をたくさん見つけていきたいです。

◆附属中学校 1年 K. K. ◆

とても充実した九日間でした。特に心に残ったことは、スコットランドでのホームステイです。ホストファミリーに会う前は自分の英語が通じるかどうか心配でした。しかし、ホストファミリーの人たちは普段よりゆっくり英語を話してくれたり、僕のつたない英語でも真摯に聞いてくださったりして、楽しい会話をすることができました。また、多くの貴重な体験もさせていただきました。特に印象深かったことは、ホストファミリーの方にスコットランド伝統料理の「ハギス」を食べさせてもらったことです。「ハギス」は、羊の胃の中に羊の内臓をミンチしたものや、ハーブを入れて、ボイルした料理のことです。最初聞いた時には、おいしいのかな？と心配になりましたが、マッシュポテトと相性が良くおいしくいただくことができました。長崎では絶対に食べられないような料理を食べさせていただき、とても貴重な体験になりました。

ロンドンでの視察では、テレビや本の中でしか見たことのない場所に実際に訪れることができました。例えば、大英博物館やウェストミンスター寺院、ロンドンアイなどに行きました。大英博物館では、ロゼッタストーンやミイラなどを見ました。大英博物館で人気のある展示物が日本の「漫画」だと知り驚きました。お土産のコーナーに日本の浮世絵のポストカードがあって、ちょっと不思議な感じでした。ウェストミンスター寺院では、大きくてきれいなステンドグラスや細部まで作りこまれた建物、そしてたくさんの著名人のお墓がありました。アイザック・ニュートンやエリザベス女王I世のお墓を見ることができました。しかし、ウェストミンスター寺院は今も基督教の信者の方がお祈りなどに利用しているので内部の写真を撮れなかったことが残念です。床のタイルの下にもお墓があり、人が眠っていると聞いてびっくりしました。ロンドンアイからはビッグベンや多くのおしゃれなビルを見ることができました。しかし、ビッグベンが改修工事中だったため全体を見ることができませんでした。だから、改修工事が終わった後に自分の力でまたイギリスに行きたいです。

この9日間で気付いたことは、日本人の丁寧さ、そして慣れ親しんだ和食の良さです。

イギリスのスーパーでは、日本に比べて店員の対応、商品の扱い方、接客態度などにおいて雑だと感じました。また、日本と比べて笑顔がないなあと思いました。このようなことから日本人の丁寧さを再確認できました。また、帰りの飛行機の中での機内食で蕎麦や豚丼が出ました。お米や出汁のおいしさを再確認し、和食の良さ、おいしさを改めて感じることができました。イギリスに行ったことによってこのような日本の良さを再発見することができました。

子どもゆめ体験に参加して、スコットランドやイギリスの文化や考え方を知り、自分の視野や考え方の幅を広げることができました。これから、この経験を勉強や生活に活かして、将来的には世界に飛び出し、日本や長崎の良さを世界中の人々に伝えたいと思うようになりました。その目標に向かって英語の勉強や積極的な学校行事への参加など、努力を続けていきたいです。

◆長崎東中学校3年 H. S. ◆

私が9日間で学んだことはとてもたくさんあります。まだ、あまり打ちとけていない他校の生徒と一緒に海外へ行くというのは正直とても不安でした。ですが、9日間を過ごすうちにこの不安が嘘だったかのように消え、心から仲間と楽しむことができました。イギリスでは日本との違いをたくさん感じることができました。例えば、博物館や美術館などは、国民に気軽に入って勉強してもらうために入場料は無料ということや、日本の何倍も工事が進むのがおそく、街にはたくさんのクレーンがあることや、一步街に出ただけでたくさんの人種の人がいる、様々な言語が聞こえることです。この五感で感じた日本との違いは、日本に住んでいるだけでは体験できないことです。今回感じた、日本、長崎の良さ、イギリスの良さは日本のことをさらに知るきっかけとなりました。

私のゆめ体験での1番の思い出は1番楽しみにしていたホームステイです。わずか3日間でしたがホストファミリーはうまく英語を話せない私に対しても笑顔で優しく接してくれました。最初は言っていることがあまり聞きとれず、聞き返したりしてしまいましたが、徐々に質問に答えるだけでなく、会話もできるようになりました。ホストファミリーはいろいろな事を見せて説明してくれました。ですが、そのことについての感想など、英語にできず、しっかり伝えられなかったことがとても悔しいです。また、ホストファミリー同士の会話などはとてもスピードが速く、全く会話に入ることができなかったので、これからはこの悔しさと会話をスムーズにできるようになることを目標に頑張りたいと思います。ホームステイは特に学ぶことが多く良い体験になりました。

他にも伝えきれないほどたくさんの貴重な経験をしました。この経験をできるだけ多くの人へ伝えられたらいいと思います。

最後に、9日間を素晴らしいものにしてくださった国際課のみなさん、ガイドの方々、ホストファミリー、現地で交流をして下さったみなさん、そして13人の仲間達、本当にありがとうございました。この体験は絶対次につなげます！

◆附属中学校3年 H. N. ◆

僕にとってあの9日間は夢のような時間であつという間に過ぎていきました。最初は、周りのメンバーと仲良くなれるか心配でしたが、周りの皆が温かく接してくれたり、引率

の先生や国際課の方々、添乗員の方も気軽に話しかけてくれて、すぐに周りと打ち解けることができました。僕は子どもゆめ体験で2つの目標を掲げていました。「異文化を受信し、自分の考えを発信する」と「1つ1つのことをより深いものにする」でした。これらの目標は、かなり達成できたと思います。アバディーンでは、海洋博物館訪問や市役所訪問、ホームステイなどがありました。海洋博物館では質問を英語でチャレンジしました。ですが、伝えたいことが伝わらなくて、少し悔しい思いをしました。市役所訪問の際には、上手く質問することができて、良い経験になりました。ホームステイ2泊3日は最初丁度いいぐらいかなと思っていましたが、ホストファミリーの温かさ、優しさを肌で感じ、ホームステイが終わる頃には、2泊3日なんてあっという間で、もっと一緒にいたかったと後悔してしまいました。そんな短い2泊3日でしたが、ホストファミリーは僕をいろんな所へ連れて行ってくれました。特にロナーク・ギャザリング（スコットランドの祭り）はスコットランドの民俗文化を見ることができ、日本との文化の違いを肌で感じました。またアバディーンの街並みは、日本とは全く違い驚きの連続でした。例えば、日本にはまだ導入されていない信号のない交差点ラウンドアバウトがあったりと、日本には見られない新たな利点を発見することができました。

ロンドンでは、市内散策や在英国日本大使館訪問などがあり、ロンドンはアバディーンとはまた違う雰囲気でものすごい人で溢れていました。市内散策では大英博物館やウェストミンスター寺院、ロンドンアイなどを訪れて、中でも驚いたのは、大英博物館です。博物館の展示物に驚いたのはもちろんなのですが、更に驚いたのが、入場料が無料であるということです。イギリスは教育環境が日本よりも充実していると感じました。他にもスーパーマーケットにショッピングに行ったりと良い経験になりました。

今回僕が参加したこの子どもゆめ体験では様々な人にお世話になりました。現地の人々、添乗員さん、空手を披露してくれた地元の子供たち、ガイドの方、一緒に旅をした13名のメンバーそして準備や企画などを行ってくれた国際課の方々、引率の先生、ホストファミリー、両親たくさんお世話になりました。多くの人々に支えられてこの夢のような体験をすることができたと思います。今は感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。自分自身、この「子どもゆめ体験」を通して、外国に住みたいと強く思うようになりました。外国に住むためには、もっと英語や英語以外の外国語を話せるようにならないと現地で生活することは難しいと思います。なので、これから更にコミュニケーション力や英語力を高めて、自分の夢が叶うようにがんばっていきたいと思います。

◆精道三川台中学校3年 K. F. ◆

僕にとって子どもゆめ体験を通しての一番の思い出は13名の仲間たちとともに夏休みの9日間を英国という国で過ごすことができたことです。

僕にとっては初めての海外で何もかも新しいことに出会えると出発の日までワクワクした毎日を過ごしていました。実際、出発の日になると皆とうまくやっていけるだろうか、ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるだろうか、と不安もよぎりました。しかし、いざ研修が始まると楽しいことばかりで何も心配することはありませんでした。

このゆめ体験で特に印象に残っていることが2つあります。1つ目は、3日間のホームステイです。最初は、ファミリーとうまくいけようかと緊張もしましたが僕たちを家族

のようにあたたかく迎え入れてくれすぐに打ち解けることができました。ステイ中は、たくさんのイベントやパーティーや食事に連れていってくれたりまさに夢のような3日間を過ごすことができました。また、僕が英国に行ったら絶対に食べたいと思っていた念願のフィッシュ&チップスも食べることができました。魚の衣がサクサクとして香ばしくて想像以上に僕好みの味でした。いつかまた英国を訪れて本場の色々なお店のフィッシュ&チップスを食べ比べてみたいと思っています。ホームステイ先では、色々な人達と交流ができ、改めて英語を通してのコミュニケーションの大切さを実感しました。英語力を磨くことと今回大変お世話になったホストファミリーとの交流を今後も続けていきたいと思っています。

2つ目は、ロンドンの市街地巡りです。大英博物館の本物の芸術に自分の目で触れたこと、改修中だったビッグベンをロンドンアイから観ることができたこと、テムズ川下りで船上から観るまた違ったロンドンの街並みなど観るものすべてが僕の目には刺激的に映りました。古く歴史あるものと新しいものが混在し融合したロンドンの街並みの風景は、今でも鮮明に僕の目に焼き付いています。僕の一生の宝物です。

この体験に参加させていただいたことで日常では考えられない魅力的なものを観ることができ、たくさんの素晴らしい人たちに出会うことができました。何事にも好奇心を持ちチャレンジする精神を持つことがいかに大切かを実感しました。そしてこれからの自分の将来の夢にも大きく関わる経験となりました。

今回の研修において最初から最後まで僕たちをサポートしてくださった国際課の皆さんをはじめ関係者の方々、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

◆三重中学校2年 M. F. ◆

不安と期待でいっぱいだった私の心は、アバディーン空港に着いて、一步踏み出したとたん、ワクワクとドキドキ、そしてキラキラに変化した。初めて見る風景、日本とは全然違う街並み、そしてアバディーンの空気は、ほのかに香水のような、いい香りがしたことを覚えています。

今回、私が一番楽しみにしていたことは、ホームステイでした。ホストファミリーの方との対面式では緊張しましたが、とても温かく接していただき、すぐに仲良くすることができました。そして、一緒に行ったダノッター城は、断崖の上に立つお城で、その景色は圧倒的な美しさと、歴史を感じさせられる廃城でした。13世紀頃から建築されたと学びましたが、そんな昔に、この断崖絶壁にお城をどのようにして建てたのだろうと不思議に思ったのと同時に、13世紀から作られたお城が現代まで、このように美しく保存されていて、すばらしいなと思いました。ダノッター城を見学することができ、アバディーンの歴史を大切に作る心や、国を愛する想いを感じることもできました。最後のホストファミリーとのお別れの時には、とても悲しくて、また会いたい。いつか会いに行きたいと、強く思いました。本当に出会えて良かったです。

この体験を通して、言葉では、言い表すことのできないような、とても濃い時間を過ごすことができました。日本とは違う文化を、イギリスの街並みで感じることができ、ホームステイ先では、日本人と同じように、温かく私を受け入れてくださり、とても親切にしてくださいました。たった2泊3日でしたが、イギリスの家族になれたような、そんな時間を過ごすことができました。今回私がイギリスに行って、イギリスの文化や歴史を学ぶ

ことができましたが、次はイギリスの方たちに、日本を知ってもらったり、長崎の文化を感じてもらいたいなという気持ちも芽生えました。私がホストファミリーにしてもらったように私もいつか、長崎に来る外国の方たちを受け入れるホストファミリーになりたいです。そのためにも、少しでもコミュニケーションが取れるように、様々な語学力をつけ、少しでも長崎の魅力を伝えることができるように頑張ります。

イギリスに行き、現地で学び、ホストファミリーと一緒にいったメンバーからも多くのことを学び、私の一生の思い出となりました。今回、このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

◆精道三川台中学校 2年 K. H. ◆

僕は、「子どもゆめ体験」に参加して、とても多くの思い出を作ることができました。特に一番の思い出はやはり、ホストファミリーと過ごした3日間です。ホストファミリーと一番の思い出は毎日、公園で遊んだことです。ほんの些細なことですが、僕にとってはとても楽しい思い出です。公園では遊具で遊んだりラグビーをしたり、様々なことをしました。ときには、アバディーンの特徴は「アザミ」という植物だ、ということを知ってくれました。また、池ではホストブラザーと水切りをしていました。僕はこれまでホームステイに恐怖心を持っていました。「英語が通じなかったらどうしよう」、「ホストファミリーを怒らせてしまったらどうしよう」、僕の頭の中は「どうしよう」でいっぱいでした。しかし、ホームステイをするとそんな考えは一気にふきとびました。僕は現地で風邪をひいてしまいましたが、ホストマザーが体調を気にしたりしてくれて、悪化することはありませんでした。僕はホームステイをする中でネガティブな考えはなくなり、「ホームステイって楽しい!」、「英語が通じるって楽しい!」という考えになりました。

ホストファミリーとは今でもメールでやり取りをしています。僕にとってホストファミリーは海外で最初の友人たちであり、もう一つの大事な家族です。僕はホストファミリーと別れるとき約束をしました。「また会おう」この約束を果たすためにもっと英語をがんばろう、そう決意しました。

◆長崎東中学校 3年 Y. M. ◆

今回、子どもゆめ体験に参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。はじめは、ほとんど話したことがないメンバーと活動することに不安もありました。しかし、気が付くとそれは「楽しい」という気持ちに変わっていました。お互いに励まし合える仲間がいて、たくさんチャレンジできました。

今回訪問したイギリスは世界各地から様々な人がたくさん来ていて、日本との違いが数えられないくらいありました。行く先々で「ここは海外だ」と実感しました。

この研修で私の心に残っているのは、何とんでもホームステイです。私たちが滞在したアバディーンには、大きな港があります。北海油田と行き来する大きな船がたくさんいました。ホストファミリーに、そんな美しい景色を見ながら食事ができる海辺のレストランに連れて行ってもらいました。まず、出されたメニューを見て、とても焦りました。知らない単語がたくさんあったからです。それでも、材料名を見たりホストファミリーに質問したりして、何とか注文しました。出てきたのが30cmほどの大きな魚が、お皿からはみ

出してのっている「フィッシュアンドチップス」でした。あまりの大きさに驚いていると、ホストマザーが、ここまで大きなのは見たことがないと話してくれました。訪問する先々で、おいしいものがたくさん出てくるので、残念ながらほとんど食べられませんでした、おいしかったです。

ホストファミリーとは他にも、書道を披露したり体験してもらったり、一緒にお蕎麦やお味噌汁を作って食べたりしました。日本からのお土産を渡すととても喜んでくれて、スコットランドのものをプレゼントしてくれました。私のたどたどしい英語にも耳を傾け、私にわからない言葉が出てきたら一緒に考えてくれたので、たくさんおしゃべりができて、楽しかったです。

ホストファミリーとのさよならパーティーでは、現地の子たちとの交流もありました。10歳前後の子たちと話したとき、それまで大人の方々がゆっくり話して下さっていたことを改めて実感しました。また、ほぼ同じ年の女の子たちとも話をしました。声をかける時の戸惑いや緊張は嘘のように、どんどん会話が弾んで本当に楽しかったです。今では、メールのやり取りをしていて、返事が来るのが待ち遠しいです。言語の壁はとても大きいけれど、相手とつながりたい、相手のことをもっと知りたいと思ったら、言語などの違いに関係なく、分かり合えるのだと思いました。

ロンドンでは、歴史を感じるものをたくさん見ました。訪問する前までは、本や雑誌、スマートフォンやテレビの画面の中にあっただけのものが、自分の目の前にパッと広がっていて、感動が止まりませんでした。テムズ川周辺は、どの方向を見ても有名な建物がたくさん並び、素晴らしいの一言でした。大英博物館では、時間、国境を越えた多くのものを見ました。教科書やガイドブックに載っている写真の実物を間近で見ることができてよかったです。

この9日間で私は多くのことを学ぶことができ、今後の課題も見えてきました。そして、改めて日本の良さにも気が付くことができました。これからもホストファミリーや現地の子と交流を続け、いつかレベルアップした英語で話したいです。この9日間に学んだたくさんの方々のことを将来に活かしていきたいです。貴重な体験をさせてくださった、国内外の多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◆純心中学校2年 M. M. ◆

初めての外国で、日本とはまったく違う景色を見ました。建物や食事、言語。日本では、体験できないことがたくさんありました。

私が一番印象に残っていることは、ホームステイです。私は今回、二つの家庭を訪れました。どちらの家庭でも、とても親切に接してくれました。二つの家庭を訪れてみると、それぞれ違う「家庭」がありました。話をしている、分からないところがあると、ゆっくり、分かりやすい言葉で、丁寧に話をしてくれました。二日目に訪れた家庭には、私よりも年上の女の子がいました。一つ年上ということもあり、その子が通っている学校の制服も着せてもらいました。倉庫には、カッコいい車がたくさんありました。その中で、一台乗せてもらいました。とても嬉しかったです。ホストファミリーの優しさにふれて、とても心が温かくなりました。

また、ロンドンでロンドンアイやウェストミンスター寺院を見たこともとても印象に残っています。私はイギリスに行く前に、学校の教科書にのっている写真でロンドンアイを

見ました。生で見たロンドンアイは、想像していたよりも、とても大きかったです。30分かけて、ロンドンアイから見えた景色は美しかったです。ビッグベンが工事中で時計しか見られなかったのは、少し残念でした。だから、今度は自分の力でイギリスに行き、ビッグベンを見たいと思いました。

今回の研修に参加したいと思った理由は、今の自分の英語力を知りたかったからでした。私は小さい頃から英語を習っていましたが、今まで一度も外国へ行ったことはありませんでした。今回、家族とはなれ、英語を話さなければならない環境で、自分の実力を知ることができました。そこで思ったことは、ある程度、聞き取ることができても、自分で文章を作り、相手に伝えることは難しいということでした。会話をすることはできても、複雑な文章や長文での会話もできるようにならなければいけないと思いました。外国に行かなければ気付くことができなかつたと思うので、今回、外国へ行き、現地の人と話すことができてよかったです。

私は今後、機会があれば、子どもゆめ体験のように外国を訪れ、文化を知り、また、日本の文化などを広めていくことができる事業に参加していきたいと思いました。今回、反省する点もたくさんありましたが、自分に自信をつけることができた点もありました。とても楽しくて、充実した九日間でした。外国に行ったことで今の自分のままではいけないということがわかりました。英語を完璧に話すようになれるようにもっと努力していこうと思うことができました。貴重な経験をありがとうございました。

◆西浦上中学校2年 M. W.◆

私は学校の地理の勉強などでイギリスを知り、ずっと行きたいと思っていました。スコットランドも同様に、現地の写真を見て興味を持ちました。また、英語の勉強は難しいけれど、日本とは違う言語をたくさん話せるようになって海外をとび回りたいという夢を持っていました。そんな中で英語の先生がこの「子どもゆめ体験」を紹介してくださって、ますます日本の外の世界が知りたくなり、今回その機会を得ることができました。この9日間はとても貴重な時間を過ごすことができました。

一番楽しかったのはホームステイです。英語がうまく通じるか分からなかったけれど、ホストファザー、マザーが温かく迎えてくださって、とても嬉しかったです。日本のお土産もたくさん持って行って、文化交流もしました。私たちは書写が得意だったので、好きな言葉を聞いて、日本語で書き、それぞれの名前を書いてもらったりしました。日本人にしかない漢字の名前で、名前の由来を説明すると、とても感動してくれました。また、ホストファミリーの好きなそばを作って日本食をおもてなしました。

スコットランドは畑が多く、畑以外にも羊や牛、馬がたくさん放牧されていました。緑が豊かで空気がとても澄んでいて、朝のお庭の散歩がすごく気持ちよかったです。ロナークギャザリングという年に1度しかないお祭りに参加し、現地の方とふれあったり、バグパイプの音色を実際に聞いて、とても感動しました。

ロンドンでは、大英博物館に行って彫刻や石盤を見たりして歴史の流れを学ぶことができました。あの有名なビッグベンやレッドバス、公衆電話を見ました。テムズ川下りのところでボートに乗り、街の全体を見ると日本にはない芸術的かつ近未来なビルがたくさん並んでいました。その中でたくさんの古い建物が目立つことで、古いものも大切にしているということがわかりました。

この体験で学んだことは、日本と海外では文化が異なっていることです。例えば、車は右からが優先だとか、大きな建物も色んな人が勉強できるように入場料が無料だったり、理にかなったものがたくさんありました。しかし、そんな中でも、日本の良さを見つけることができました。色々な人が1度でも日本を客観的に見て、日本の素晴らしさ、海外の素晴らしさを感じられたらいいなと思いました。

国際交流を通して、互いの国の事をよく知り、関係が深まれば英語への興味も自然に湧いてくると思います。この体験はとても貴重で、必ず自分の将来への第1歩が踏み出せます。今回、このような体験をさせていただき、本当にありがとうございました。